

「ロボット」ユーザー目線でロボットソリューション事業

JRC（大阪市西区、浜針に拠っている。特に少子高齢化による中小規模製造業の人手不足や、生産性・品質の向上、精度の安定化、過酷・危険・煩雑作業の代替などの課題を産業用ロボットや協働ロボットの導入・利活用によって解決している。

同事業を担当する藤本泰弘（ロボットS I事業本部COO）（最高執行責任者）兼ロボット・S I事業部長は「旧来のメーカーとしての事業領域にとらわれず、その知識・経験を生かしてお客さまの課題を解決し、利益向上に貢献するソリューションプロバイダとしての事業領域を拡充しながら、さらなる成長を目指す」と17年7月、ロボット・S I事業部を発足させた。自社工場を持ち、モノづくりを行うメーカーのユーザー目線で、お客さまの困り事を解決していくことを事業方針としている。



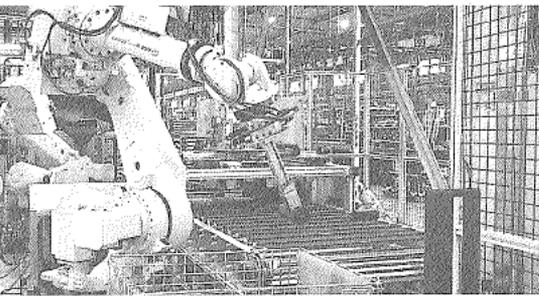
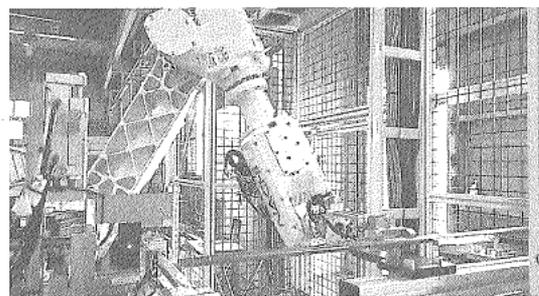
藤本 泰弘 COO 兼 事業部長

社基幹工場である本社工場（兵庫県南あわじ市）に約80台の産業用ロボット、協働ロボットを導入し、溶接や加工、組み立て作業など自動化、ロボット化に取り組んだ。同工場で蓄積した、シャフトピン入れ装置やパレタイジング自動機など

中小製造業、研究施設が導入しやすい仕様

ロボットS Iで課題解決

「ロボット十視覚のロボットビジョン、動作と感覚をデジタル化したモーションフィードバックシステム、思考のAI（人工知能）化によるティーチングレスシステムの三つのコア技術を組み合わせて、誰でも使えるロボットソリューションを提供できることが当社の強みだ。柔軟な発想と独創性で、いかに早く使いこなせるようにするかを考慮し、まとめて提供できる企業は多くない。工



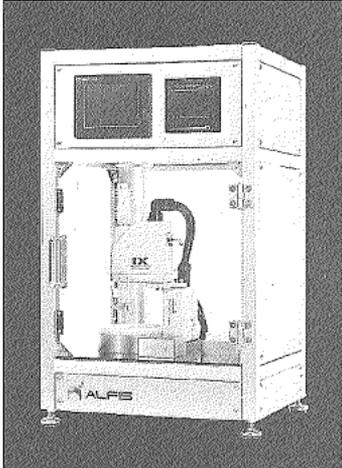
場を持つメーカーだからこ

に、さらなる実用的・先進機能の開発を進めている。

既に、6軸協働ロボットを搭載した多能工型ラボラトリオートメーションシステム「ALFIS Labotics 6」を、設置後すぐに使える。自動化した「ALFIS Labotics 6」は、Labotics mini D」を、高画質カメラを

搭載するリアルタイム培養細胞観察システム「ALFIS Labotics mini D」も展示会に出

品して市場を開拓中だ。藤本COO兼事業部長は「産業用ロボットや協働ロボットの知能、思考を持たせ、中小規模の製造業、研究施設が導入しやすい仕様として、様々な課題を当社ならではロボット・システムで解決していく」と話している。



置内清浄度はクラス1000以下を実現。クリーン環境での検査、作業の自動化が可能になった。微生物や細胞の培養、医薬品の調整など、無菌操作が求められる環境を同装置だけで作り出せる。

プロگرامミング言語など、専門知識や教示作業（ティーチング）、専用端末は不要。PC、スマートフォン、タブレットから希望シ

「ALFIS Labotics 6」は、Labotics mini D」を、高画質カメラを

搭載するリアルタイム培養細胞観察システム「ALFIS Labotics mini D」も展示会に出

品して市場を開拓中だ。藤本COO兼事業部長は「産業用ロボットや協働ロボットの知能、思考を持たせ、中小規模の製造業、研究施設が導入しやすい仕様として、様々な課題を当社ならではロボット・システムで解決していく」と話している。

本社工場（兵庫県南あわじ市）のベルトコンベヤ用ローラーのシャフトピン

入れ装置

本社工場のベルトコンベヤ用ローラーのパレタイ

ング自動機

場を持つメーカーだからこ

に、さらなる実用的・先進機能の開発を進めている。

既に、6軸協働ロボットを搭載した多能工型ラボラトリオートメーションシステム「ALFIS Labotics 6」を、設置後すぐに使える。自動化した「ALFIS Labotics 6」は、Labotics mini D」を、高画質カメラを